

第1分科会 第3グループ

札幌学院大学	三川
福岡女学院大学	木下
大阪経済法科大学	岡田
大阪歯科大学	東尾
株式会社アートスタッフ	乾
聖徳大学	稲葉
東海大学	関本
株式会社日立製作所	河南

テーマ

□ 卒業後のキャリア形成に役立つ

理想のシステムを形成する。

→ケーススタディ

F岡J学院大学の課題を解決する理想的なポートフォリオ、学生カルテの機能を検討する。また、導入時に想定される課題についても検討する。

F岡J学院大学の課題

□ 大学の希望:

学生が満足できる仕事に就いてほしい

→満足できる仕事 = 自分のやりたい仕事

→そのためには、

学生がどんな会社で何をしたいかを考える必要があるが、現在はそれが不足している

= 解決すべき課題

F岡J学院大学の課題

□ 課題を解決するために必要なこと

①自分の能力・やりたいことへの理解

②社会情勢・企業への理解

現在の学生は上記2つが不十分のため、
早期に理解を深める必要がある。

課題の詳細①

★学生に関するもの

- 社会に対する理想と現実のギャップ
→社会との接点のなさ、社会の理解不足等
 - 自己認識の不足
→自己の現状を把握できていない等
 - 情報共有の不足
 - 就職に対する意識が低い
-

課題の詳細②

★大学側に関するもの

- 大学の取り組み
→1～4年次のプログラムの運営基盤が異なり、
それらが連動していない。
→初年次にキャリア支援のプログラムがない
 - 情報共有の不足
→教員同士、教員職員間の連携不足
-

参考画像(検討の様子)



7

システムを活用した解決方法

ポートフォリオ

- 自分の能力・やりたいこと
の理解
 - ・自己分析テストを受ける
 - ・就職した先輩のプロファイルを公開し比較する
 - ・目的と評価の振り返り
 - ・アンケートの実施
 - ・目標設定
 - ・成績、順位GPAの参照
 - ・自己理解プログラムへの参加
- 社会情勢・企業への理解
 - ・時事ニュースに関するレポート

- 自分の能力・やりたいこと
の理解
 - ・面談記録
 - ・指導の際のサポート
(成績情報などの参照)

学生カルテ

SNS

8

アナログ

システムの導入・運用にあたり想定される課題①

- 課題:関わる部署が多岐にわたるので、
主体となる部署を明確にする必要がある
 - 解決策:各課から選出されたワーキンググループが検討した内容を、学長へ提案する
その後、学長からトップダウンでシステム導入の号令をかけてもらう
-

システムの導入・運用にあたり想定される課題②

- 課題:個人情報適切に扱う必要がある
 - 解決策:
 - ①個人情報の取り扱いに関するガイドラインを
制定し、教職員向けに講習会を実施する
 - ②学内の特定PCからのみアクセスできるようにする
 - ③情報のアクセス権をユーザー単位で設定する
(閲覧/入力)
-

システムの導入・運用にあたり想定される課題③

- 課題:利用率をあげる必要がある
 - 解決策:
 - ①教職協働で学生指導を行う
 - ②教員評価・FDの一環として教員にインセンティブを与える
 - ③初年次教育の中で目標の登録を行う
 - ④SNSで他者からの「イイネ！」ボタンでの評価や、コメントの登録を可能にする
 - ⑤ポイント制によるお楽しみ機能を設ける(ランキング・アバターなど)
-

職員の役割の明確化

- 学生カルテについて
 - ①面談・奨学金・保健室・図書館など
学生活動に関わるすべての記録を入力
 - ②学生カルテを参照し、
よりきめこまやかな指導を行う
 - ③教員が入力した内容の点検
 - ポートフォリオについて
 - ①活用していない学生へのフォロー
-